



平成16年7月号 No.459

広報かなぎ

五所川原市

金木町

市浦村

五所川原地域合併協議会設置



協議会委員には、鳴海町長（協議会副会長）、角田助役、中谷秀八町議会議長、高杉利彦町議会議員、古川幸治町議会議員、学識経験者として白川昭磨氏、三瀉成太郎氏、青山ユキ氏が選出され、より良い合併を目指しスタート。

法定協設置に調印

6月22日、五所川原市役所で調印後、握手する3市町村長と鈴木県企画政策部理事。



太宰ファンの集い

太宰治生誕

95年記念祭

生誕祭

作家太宰治生誕祭が
六月十九日、県内外か
ら太宰ファン約三百人
が芦野公園に集い、文
学碑に献花し、生誕九
十五年を祝いました。

文学碑に献花する鳴海町長



開会式で鳴海町長は
「後世に太宰文学を伝
える町づくりを目指し
たい。」と述べ、太宰
治の長女津島園子さん
が「太宰文学の価値が
理解され、皆さまに読
み継がれています。太
宰の不思議な魅力に私
も驚いています。これ
からも生誕祭が続いて
いただきたい。」とあ
いさつしました。続け
て、東京都三鷹市で、
太宰治ゆかりの地観光
ガイド長田清さん（八
十九歳）が太宰治の作
品『待つ』を感情豊か
に朗読しました。

太宰治の作品
『待つ』を朗読する
長田清さん



あいさつする
津島園子さん

『撰ばれてあることの
恍惚と不安と
二つわれにあり』

金木女声合唱団チ
エリーコールが歌う、
太宰治の恩師川口豊
三郎詞曲の「太宰碑讀」

さくらんぼを献上した
名川さくらんぼ娘



来宴のみなさん



献花する参列者





金木女声合唱団
チェリーコールの皆さん



祝う会であいさつ
小野正文先生

の歌声が、会場内に聞こえてくるなかを参加者たちは、ユリやバラなどを文学碑に献花しました。

また、太宰治記念館「斜陽館」仏壇において、五十五年ぶりに里帰りした津島家「御仏壇」

遷座式に二百名の方々が参列されました。太

宰治が文学界に残した

多大な業績を讃え、中

央公民館で太宰治生

誕を祝う会が開催され、

多くの太宰ファンが

語り合っていました。



碑文



津島家仏壇に手を合わせる津島園子さん



津島家を代表してあいさつする田沢陽さん

生誕95年記念 イベント開催日程

開催会場

太宰治記念館「斜陽館」

● 太宰治直筆展・写真展
8月19日まで

● 太宰治・初版本展、版画展
9月4日～26日

● 太宰治・青春の海さし絵展
太宰治・細密画展
10月4日～24日

● 太宰治ゆかりの地写真展
11月1日～12月19日

● 津島家「長女津島たま」写真公開
旧津島家中の蔵「収蔵資料展」
平成17年1月4日～3月21日

観光客のニーズに応えるために

太宰治記念館「斜陽館」の入館者が今年二月に六十万人を突破し、近年、観光客から斜陽館内で説明を聞きたいという要望が多いことから、教育委員会が七月九日、役場さくらの間でボランティアガイド講習会を開催した。

講習会は全五回開催され、基本的でガイド知識やガイドマナーを身に付け、斜陽館概要とガイドポイントなどを習得し、実地研修後、斜陽館ボランティアガイドとして活躍します。

第一回目の講習会には、太宰会会員、主婦などの方々が参加し、木下教育長から趣旨等説明の後、講話があり、田中豊忠氏が「ボランティアガイドの楽しさ」と題して、世界遺産白神でボランティアガイドとして体験した喜びと楽しさをユーモアあふれる口調で話し、角田周氏は「観光客のニーズは多様化している。

要求は激しいものがある。それに応える知識やマナーが必要。」と「観光ガイドとガイドマナー」について話していた。

参加者たちは、熱心にメモを執りながら真剣に両氏の講話を聞いていた。



嘉瀬虫おくり

郷土愛と

伝統芸能を継ぐ



嘉瀬八幡宮で奉納舞

ガンバレ!! 子どもたち



元気に踊る荒馬



ボク!! がんばるヨ。

『五穀豊穡と無病息災』を願い、嘉瀬地区子ども会育成会（会長＝白川春左衛門）が6月13日、嘉瀬地区の各沿道で虫おくりを披露しました。

嘉瀬公民館で開会式を行い、木下教育長などから激励のことばを受けた後、地元の人たちが見守るなか、虫を先頭に嘉瀬公民館を出発しました。

子どもたちは、各家々の前で荒馬・獅子舞・太刀振りなどの踊りを披露し、約6キロメートルの道のりを練り歩き、沿道からは、大きな声援と拍手が送られていた。

今日の本番に向けて子どもたちは、笛の吹き方、鐘の叩き方、太鼓の打ち方などの練習は欠かさず参加し、一生懸命に励んでいました。

また、育成会の皆さんは、前日の虫作りと台車への飾りつけや当日の昼食の準備などに地域みんなで取り組んでいました。



しっかりネ!!



ソーラ 踊れ!!



昼食は任せなさい!!



飾り付けは大人たち



練り歩く子供たち

金木高校生 職場体験

勤労観・職業観の育成を目的に金木高校（校長 岩城徹）の二学年（八十一名）が六月十六日、十八日の三日間、町内外二十四事業所で職場体験学習（インターシップ）をしました。

生徒たちの就職等の悩みとなつている職場の現状や就職への不安を職場体験で総合的に理解させ、進路への意識向上を図り、今後の就職活動の良い機会になればと、同校が毎年実施しているものです。

主な職場体験内容

◆太宰治記念館「斜陽館」

資料展示室の展示ガラス拭きや初めての窓口業務で、緊張しながらも観光客に手際よくチケット販売やパンフレット配布など。



チケット販売は『笑顔で』

◆津軽三味線会館

演奏開始の案内放送や音響・照明操作、舞台セットや窓口業務など。



音量調整『OK』

◆観光物産館マデニール

商品の陳列や補充、店内での接客、屋外店舗部分掃除など。



見栄えの陳列を

◆第一保育所

子どもたちと仲良く遊ぶ「コッ」を学んだ実習生徒は「小さな子どもと接する機会が少なく、最初は戸惑いもあったが、先生方のおかげで無事終えました。この貴重な体験を生かし、今後の進路に役立たせたい」と感謝と抱負を話しました。



ハイポーズ!!

社会を明るくする運動

法務大臣からのメッセージ伝達

社会を明るくする運動実施委員会（委員長 小野俊逸中里町長）、津軽北地区保護司会（会長 須崎由美）が七月一日、犯罪や非行のない明るい社会を築こうと町内をパレードしました。

この運動は「青少年の健やかな成長を助け、非行や犯罪を防ぎ、誰もが支え合って生きていける地域づくりに参加しよう」と全国一斉に毎年七月に強調月間として実施され、今年で五十四回を迎えました。

役場前に到着したパレード参加者たちは、角田助役の前で、保護司会長の須崎由美氏が「罪を犯した人たちが非行をした少年たちの更生が円滑に行われるためには、その人を取り巻く地域社会の理解と協力が不可欠である」という内容が書かれ

ている法務大臣からのメッセージを伝達しました。伝達後、参加者たちは角田助役から激励の言葉を受けて、次の目的地の市浦村と小泊村へ向けて車列パレードに出かけました。



メッセージを伝達する
須崎会長